



朝日村開村130年記念

The Catastrophe of
Death and Regeneration

死と再生のカタストロフィ

下田ひかり展

Hikari Shimoda Exhibition

下田ひかり展

7 July – 26 August 2018

Asahi Art Museum

2018年7月7日[土] – 8月26日[日]

朝日美術館

朝日村開村130年記念

死と再生のカタストロフィ 下田ひかり展

開館時間 | 9:00-17:00 [入館は16:30まで] 月曜日休館 [7/16は開館、7/17は休館]

入館料 | 大人 800円 大学・高校生 500円 中学・小学生 200円

〒390-1104 長野県東筑摩郡朝日村古見1308 TEL | 0263-99-2359 FAX | 0263-99-3624

主催 | 朝日美術館、朝日村教育委員会、朝日村

後援 | 長野県、長野県教育委員会、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、信濃毎日新聞社
朝日新聞長野総局、読売新聞松本支局、中日新聞社、市民タイムス、MGプレス

死と再生のカタストロフィ 下田ひかり展

朝日美術館 2018年7月7日[土] - 8月26日[日]

開館時間 | 9:00-17:00 [入館は16:30まで] 月曜日休館 [7/16は開館、7/17は休館] 入館料 | 大人 800円 大学・高校生 500円 中学・小学生 200円

主催 | 朝日美術館、朝日村教育委員会、朝日村

後援 | 長野県、長野県教育委員会、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総局、読売新聞松本支局、中日新聞社、市民タイムス、MGプレス

|| 関連イベント || ギャラリートーク

日時 | 7月15日[日] 13:30~ 場所 | 朝日美術館展示室 *要入館料
_下田ひかりが作品について語ります。

下田ひかりトークショー「現代の日本で美術家として活動するということ」

日時 | 8月11日[土] 13:30~ 場所 | 朝日美術館展示室 *要入館料

朝日美術館では朝日村開村130年にあわせて「死と再生のカタストロフィ 下田ひかり展」を開催いたします。

下田ひかりは1984年、長野県東筑摩郡朝日村に生まれました。2005年に京都嵯峨芸術大学短期大学部卒業後、イラストレーターを目指してイラストレーション青山塾で2年間学びました。その後、自分の表現を追求していくために現代美術家の道を歩み始めます。

下田は世紀末を予感させる混沌とした現代への不安感や、救いを求める人々の孤独感を子どもやヒーローを思わせるキャラクターに投影し、独自のイラスト表現で作品制作しています。下田は、アイデンティティーが確立される以前の子どもの「表現の器」としてモチーフに選びました。クローズアップした異様な容姿の子どもの虚ろな表情は、孤独や不安だけでなく世の中の矛盾や理不尽さを暗示し、現代社会への問題提起を意図しています。

本展は海外にも発表の場を広げ、インターネットを通じて世界中にファンを持つ下田が、故郷の美術館で開く初めての個展となります。現代美術家として活動を始めたこの10年間の作品を初期から新作まで約40点紹介します。

_個展開催にあたって

今の世界は生きにくさに溢れている。戦争や貧困、飢餓などの目に見える危機に加え、精神的な問題、社会不安など目に見えない部分で問題を抱える人も少なくない。

誰もが意見を表明できる世の中になった事で、ちょっとした思想、意見の相違からそこかしこで対立が起こっている。生きていくだけで日常的に何かしらの批難に遭う。武器によらない攻撃があちこちから発生している。そしてそれは、多くの場合攻撃とみなされないう、自覚も無い。

しかし、攻撃が出来る人は何かしらの武器を持ち得る人々のみだ。それは実際的な武器に限らず、知識や教養といったものも武器になり得る。そういった武器を持たず、声の上げ方すら知らずに抑圧され、「存在しないもの」になってしまっている人々も少なくない。

ここ10年、人類は大きな価値観のゆらぎの時代に突入したように思う。既存の価値観は廃れ、見直され、人間そのものが再評価されようとしている。自身の価値観を見直す行為はたいていの場合苦痛を伴い、軋轢が生まれる。あらゆる正義のみが存在し、悪意ではなく感情と正義によって争いが発生する。この進化の果てに人類はどこに行きつくのか。ともすればお互いに殺し合う絶滅の道を歩んではいないか。現代は大きな破局(カタストロフィ)に突入したように思われる。

この混沌とした世界で寄り添った無くなった我々は、どう生きていけばいいのだろう。何に救いを求めるのだろう。

美術家として活動を始めて10年。当初自分自身を描く事から始まり、自分の中に見つけた孤独と不安はそのままに、今は人種や性別を超えた人間そのものの存在、また現在そして未来の人間社会を描き出す事を主題としている。そこに答えは無く、つかみ取った世界の断片を見つめ、共有し、一人一人新しく考えを持つ事が、破滅の結末を再生へと繋げる一歩となるのではないか。

曖昧でおぼろげな現代というものの姿の一旦を提示する展覧会になる事を願っている。

下田ひかり 1984年長野県生まれ。短大卒業後、イラストレーターを目指し、イラストレーション青山塾で2年間学んだ後、2008年より現代アーティストとして活動を開始。子どもをモチーフとしながら、現代社会が抱えている問題をテーマにペインティングを制作。日本独自の「イラスト」表現をベースに、可愛さや恐ろしさ、孤独が同居する世界を展開。書籍の装丁に作品が使われるなど、10代、20代の若年層を中心に、ネットを通じて国内外にファンを持つ。2011年から海外でも作品を発表。2014年7月にロサンゼルス(Corey Herford Gallery)にて個展を開催以降、現在ではロサンゼルスを中心に海外で作品発表を行う機会が多い。個展・グループ展に多数参加。また、海外のネットメディアや雑誌等にインタビューを受ける機会も多い。

アクセス

車でお越しの場合

[東京方面]八王子IC(中央自動車道 約157km) ▶ 岡谷JCT(長野自動車道 約11km) ▶ 塩尻IC
[名古屋方面]小牧IC(中央自動車道 約170km) ▶ 岡谷JCT(長野自動車道 約11km) ▶ 塩尻IC
[北陸方面]上越IC(北陸自動車道・上越自動車道 約91km) ▶ 更埴JCT(長野自動車道 約50km) ▶ 松本IC

電車でお越しの場合

[東京方面]新宿駅 ▶ 塩尻駅または松本駅(JR中央線スーパーあずさ(約2時間30分)・特急あずさ(約3時間))
[名古屋方面]名古屋駅 ▶ 塩尻駅または松本駅(JR中央西線 特急なし(約2時間))

高速バスでお越しの場合

[東京方面]バスタ新宿(約3時間20分) ▶ 松本バスターミナル
[名古屋方面]名鉄バスセンター(約3時間30分) ▶ 松本バスターミナル
[大阪方面]阪急三番街バスターミナル(約5時間50分) ▶ 松本バスターミナル

JR塩尻駅から朝日美術館へ

塩尻駅からタクシーで約20分(乗車料金3,500~4,000円)

JR松本駅・高速バス松本バスターミナルから朝日美術館へ

松本駅からタクシーで約30分(乗車料金6,000~7,000円)

*駅・ターミナルからの公共交通機関によるアクセス方法については特設サイトで確認下さい。
*駅・ターミナルから美術館までのバスの本数が非常に限られているので事前に必ず確認して下さい。

お問い合わせ **朝日美術館** 〒390-1104 長野県東筑摩郡朝日村古見1308
TEL | 0263-99-2359 FAX | 0263-99-3624 E-mail | asahi-museum@vill.asahi.nagano.jp
|| 特設サイト || <http://hikari2018.info>

